

=====  
**環境行動計画書**  
=====

平成20年6月

苗代建設株式会社

代表取締役 苗代 勇雄

# 環 境 方 針

苗代建設株式会社は、緑豊かな自然に囲まれた穴水町で環境に配慮した企業として、社員一人ひとりが地球環境の保全に自主的に取り組み、次の世代の為に環境汚染の防止を図り豊かな自然と安全で住みやすい社会の構築を目指します。

私たちは、土木事業者として、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取り組みを社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（二酸化炭素・水使用量の節減）
- ② 土木工事業における廃棄物の適正処理を行います。
- ③ 廃棄物の抑制とリサイクルに努めます。
- ④ 環境モラルの向上に努めます。

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、環境方針と環境目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年 6月17日

苗代建設株式会社

代表取締役 苗代 勇雄

### 3. 環境負荷の低減目標

平成22年3月に向けての環境負荷の低減目標。

(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも平成20年。)

目標—1	二酸化炭素の排出量 687.95 (kg-CO <sub>2</sub> /百万円：売上高当たり) を、平成22年までに 653.55 (kg-CO <sub>2</sub> /百万円：売上高当たり) に削減する。(5%削減)
具体的な取組	<p>(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 冷房温度 (28 度) と暖房温度 (20 度) を厳守する。</li> <li>② エアコンの使用期間中は、1 回/2 ヶ月フィルターを清掃する。</li> <li>③ 昼休みの消灯、パソコン・コピー機の電源OFFを徹底する。(標語シールの掲示)</li> <li>④ パソコンとコピー機の節電機能を活用する。</li> <li>⑤ アイドリングストップを徹底する</li> </ul> <p>(現場での取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥ 昼休みと休憩時間には、作業事務所 (休憩所) の使用していない機械の電源を切る</li> <li>⑦ アイドリングストップを徹底する</li> <li>⑧ 車両、重機の点検、オイル交換を定期的に行う</li> <li>⑨ エコドライブ推進のためのシールを車内、重機に貼付する</li> <li>⑩ 現場への移動は、効率的な使用 (運転経路、相乗り) を徹底する。</li> </ul>
目標—2	一般廃棄物のリサイクル・抑制に努める。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 廃棄物は、決められたごみ箱 (可燃ごみ、不燃ごみ、コピー用紙、パンフレット、封筒、廃プラスチック) に分別して出す</li> <li>② コピー用紙の裏紙使用を徹底する</li> <li>③ シュレッダーの使用は機密書類に限定する</li> <li>④ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する</li> </ul>
目標—3	産業廃棄物の適正処理を維持する。(法律に基づく適正処理)
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 作業工程での分別に努める。</li> <li>② 廃棄物管理票 (マニフェスト) の管理を徹底する (E票の確認)</li> <li>③ 軍手、ゴム手等の使用限度を定め、ムダに廃棄しない。</li> <li>④ 最終処分事業者の契約書及び許可証を定期的に確認する。</li> </ul>

目標一4	水の使用量の現状維持（売上高当たり）に努める。
具体的な取組	① 手洗い場には、節水の標語シールを添付する。 ② 全社員が意識する。

※その他の取組み

- ・ 大型機械（重機）等は、夜間・休日に行わない
- ・ 敷地内の緑化運動を促進する

**5. 環境行動計画の実施体制**

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、環境保全担当者とともに半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。